

図書館展示計画委員会報告

平成19年度は、春季特別展及び秋季特別展を総合図書館1階展示室において開催した。

春季特別展

「子どもの遊びと絵本」

平成19年4月1日(日)～5月20日(日)

今展示では、昔の子どもの娯楽にスポットを当て、〈子どもの遊び〉と〈絵本〉の項目に分けて、本学図書館に所蔵する江戸時代から昭和初期の資料37点を出品した。

〈子どもの遊び〉では、歌川派の画家で日本の伝統的な郷土玩具を精力的に収集して描き、多くの作品を残した川崎巨泉(1877～1942)の「おもちゃ十二支」「おもちゃ画譜」をはじめ、忍頂寺静村「児童玩具図」、三木直吉「明治大阪のおもちゃ絵」などを展示した。また、細工絵のひとつである立版古と呼ばれる切組灯籠や双六、江戸末期から明治初期にかけて子どもたちの間で歌われた言葉遊び歌を版画絵にした「しん板ちんわんぶし」なども展示した。そのほか、江戸期の子どもの日常や遊びの風景を描いた西川祐信の『絵本西川東童』などを展示した。

一方、〈絵本〉では、「草双紙」と総称される元禄年間から明治中期頃の間子どもや庶民を対象に刊行された絵を主体とした読み物(刊行年代や形態により赤本・青本・黒本・黄表紙・合巻と呼称)や上方の絵本、さらに近代に至って川端康成や宇野浩二の児童文学作品などを展示した。



「大しん板切組とろうり見八犬伝悪の段猫たいじ」

秋季特別展

「廣瀬文庫とチョーサーをめぐる本たち」

平成19年11月12日(月)～12月15日(土)

記念講演会

演題 「廣瀬文庫とチョーサーをめぐる本たち」

講師 和田 葉子教授(外国語教育研究機構)

日時 11月29日(木) 14:40～16:10

会場 図書館ホール(総合図書館3階)

『カンタベリー物語』で知られる中世英国の大詩人、ジェフリー・チョーサー(Geoffrey Chaucer 1340頃～1400)の専門家であり、関西大学教養部長、大学院研究科長、図書館長、学長など要職を歴任された廣瀬捨三名誉教授(1911～2002)の蔵書が平成15年に本学図書館へ寄贈され、「廣瀬文庫」として貴重なコレクションの一つに加えられた。

廣瀬先生は、ご専門に関する資料のみならず、日本、中国の古典籍も数多く蒐集され、なかでも天明元年(1781年)書写の『萬葉集』十卷二十冊は、非仙覚本系の唯一全巻が揃ったもので、「廣瀬本『萬葉集』」と呼ばれている。今展示では、チョーサーに関する資料を「チョーサーの写本」など6項目で構成し、廣瀬文庫の資料を中心に40点を出品した。

記念講演会では、外国語教育研究機構の和田葉子先生が、チョーサーの生涯と作品や廣瀬文庫などについて、興味深いエピソードを交え、分かりやすく説明され、貴重なお話を伺うことができた。



ジョン・アリー編『ジェフリー・チョーサー作品集』